

平成18年6月13日

化管法に関する懇談会

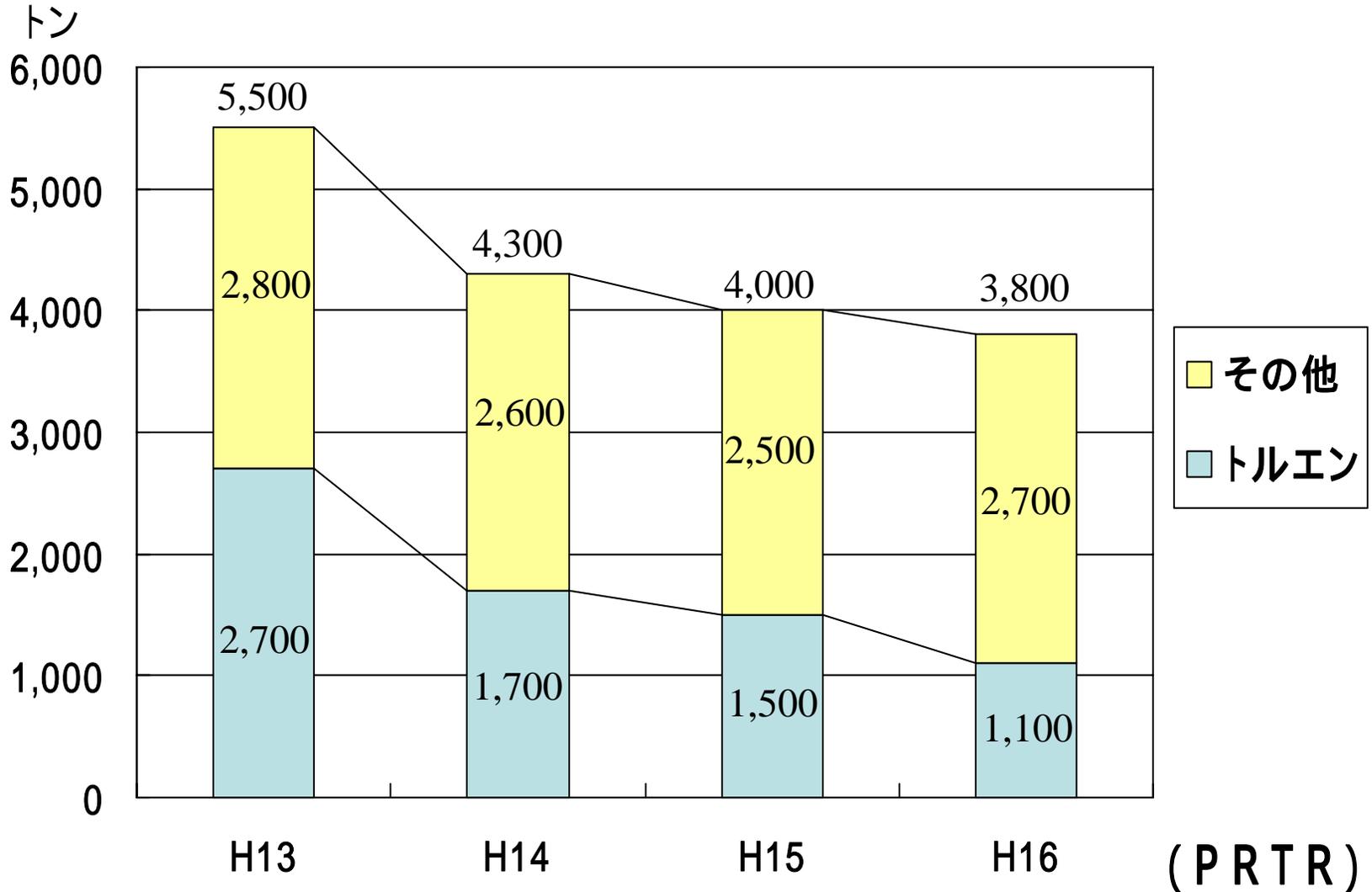
環境確保条例の運用と 化管法の見直しの方向について

東京都環境局環境改善部

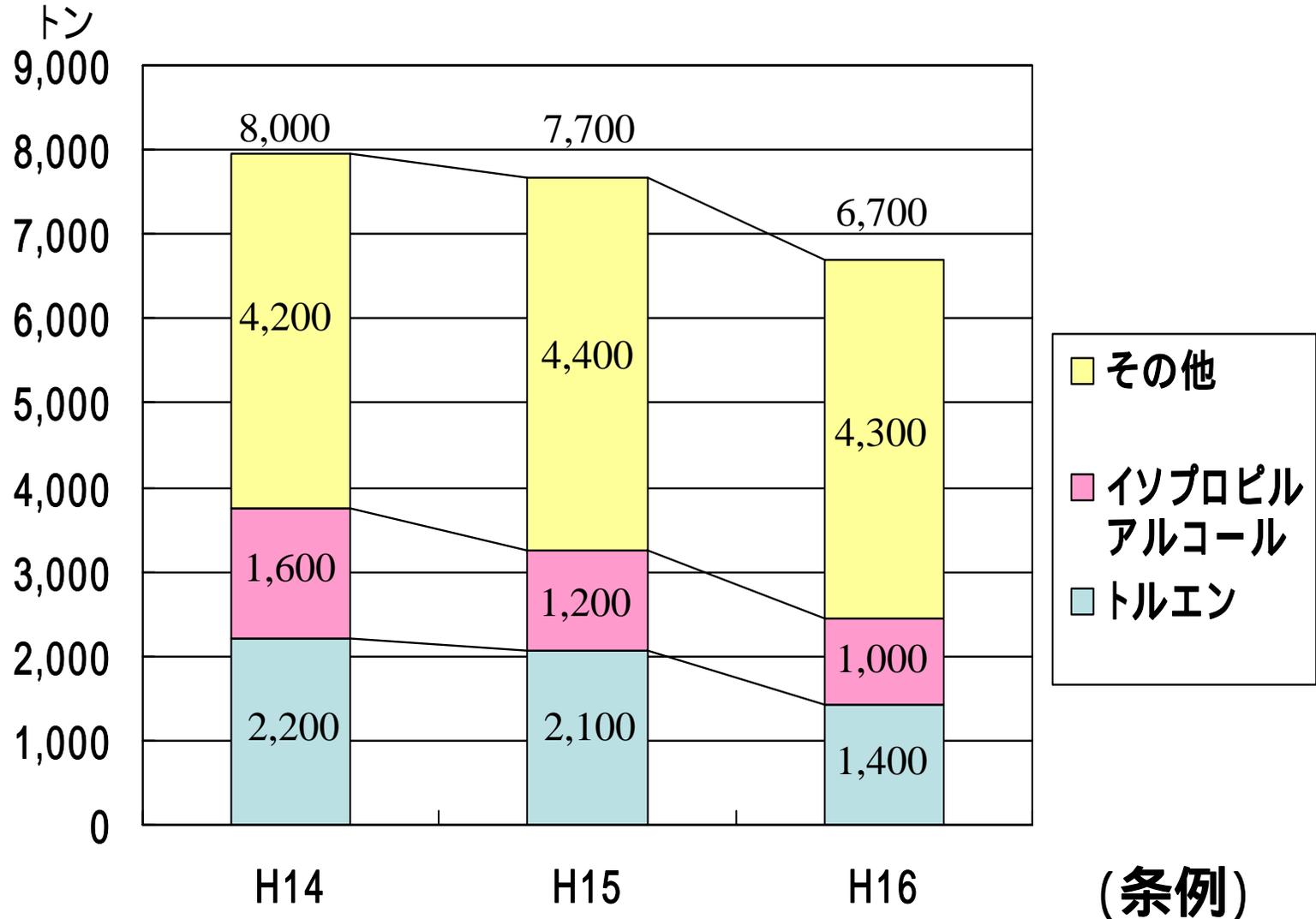
有害化学物質対策課長

池田 茂

環境への排出量の経年変化 1

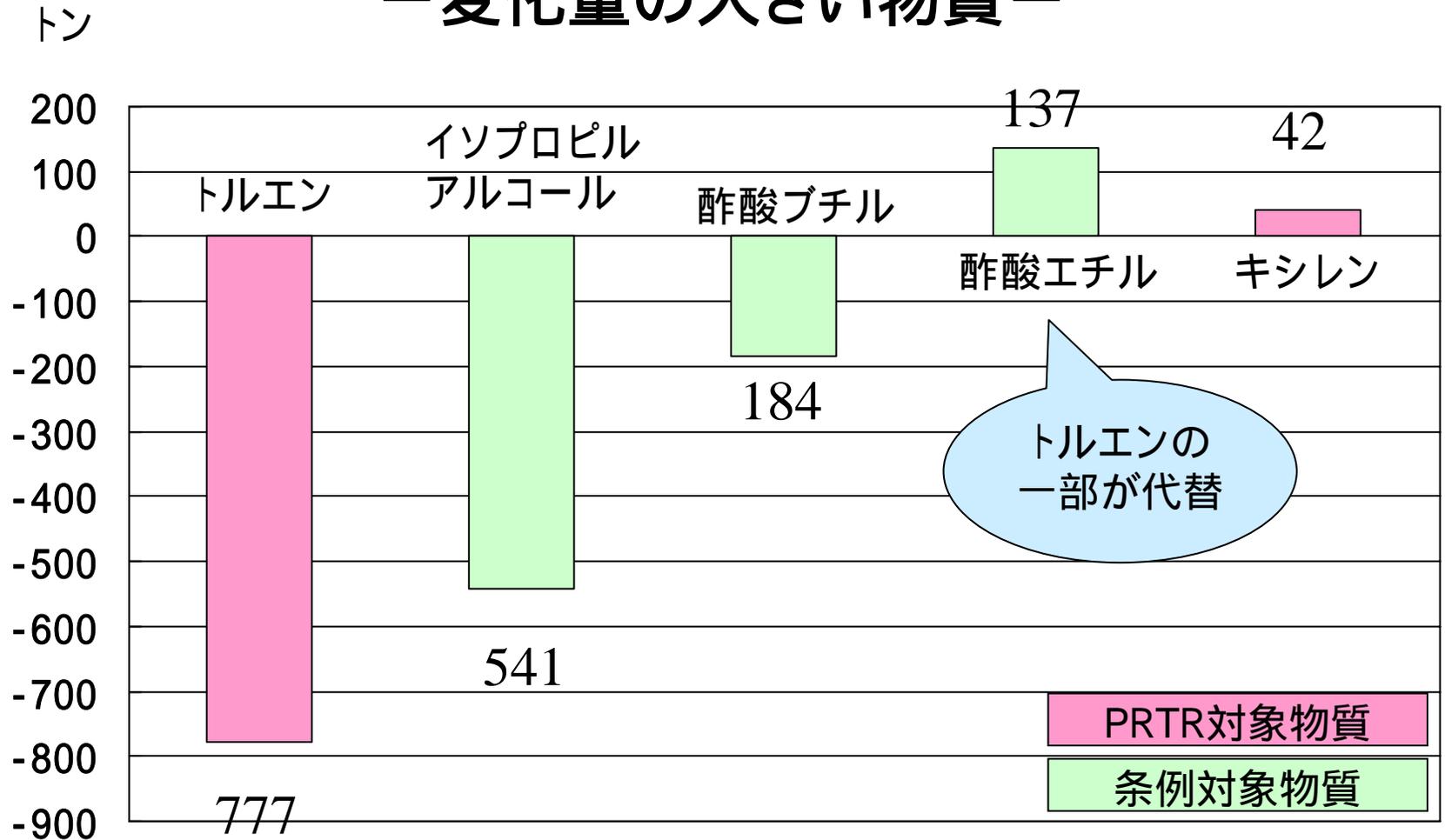


環境への排出量の経年変化 2



環境への排出量の変化

ー変化量の大きい物質ー



(H14 ~ H16の2年間)

(条例)

PRTR対象外の条例対象物質

光化学オキシダント対策

有害性

塩酸(塩化水素)

硝酸(窒素酸化物)

硫酸(三酸化硫黄)

塩素

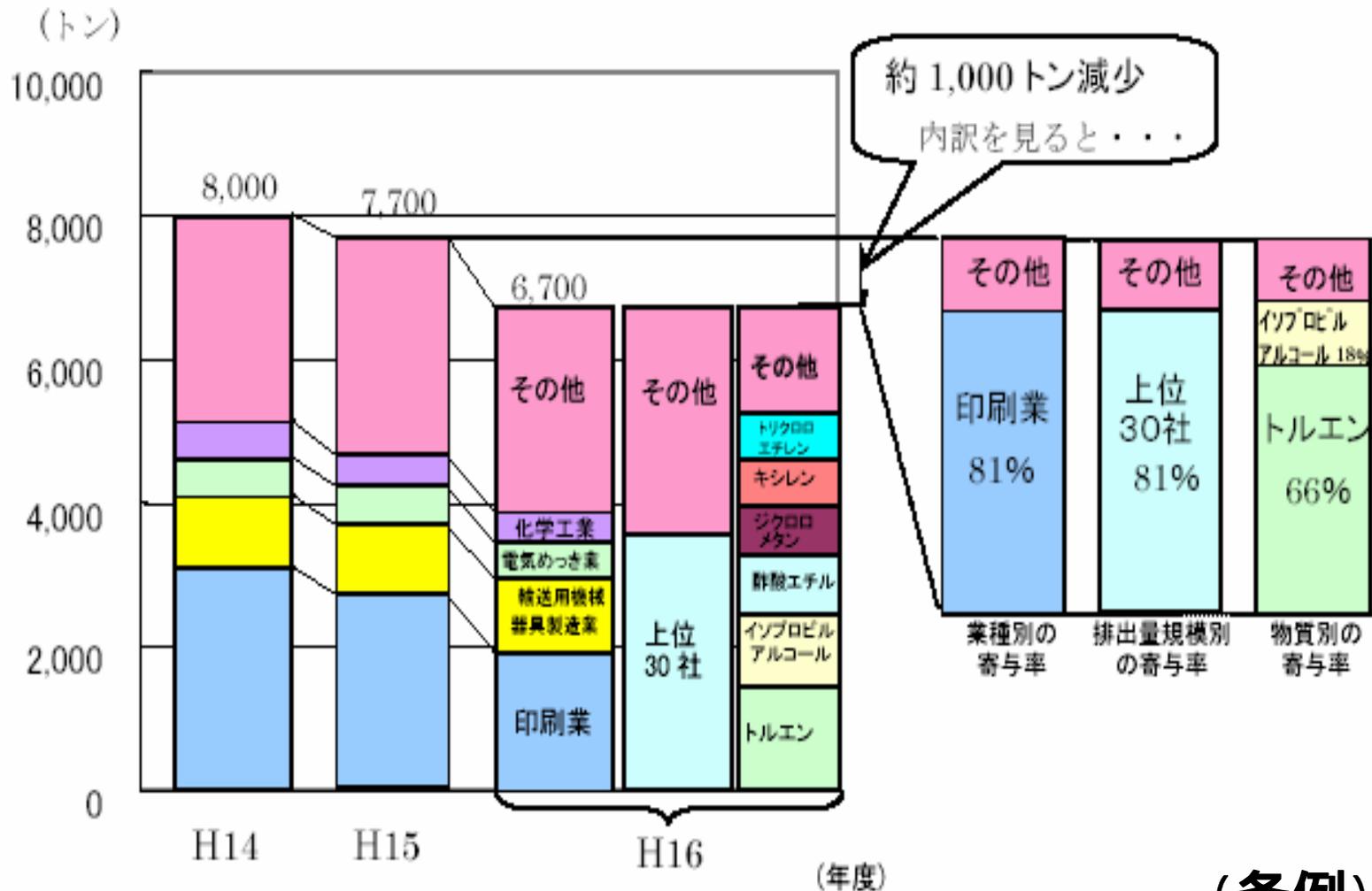
塩化スルホン酸

アセトン、イソアミルアルコール、
イソプロピルアルコール、酢酸メチル、
酢酸エチル、酢酸ブチル、ヘキサン、
メチルエチルケトン、メチルイソブチル
ケトン、メタノール

エチレン

16物質

環境への排出量変化の内訳



(条例)

条例の化学物質適正管理制度

化学物質を取り扱う事業者	化学物質適正管理指針に基づき、化学物質の排出量等を把握するとともに、化学物質の適正な管理に努めなければならない。 (第108条第2項)
適正管理化学物質取扱事業者 (取扱量100kg/年以上)	・使用量等の報告義務 (第110条第1項) ・化学物質管理方法書の作成義務 (第111条第1項)
同上 (従業員21人以上)	・化学物質管理方法書の提出義務 (第111条第2項)

東京都化学物質適正管理指針

(抜粋)

3(3)ウ 化学物質の使用合理化等排出削減に関する取組方法

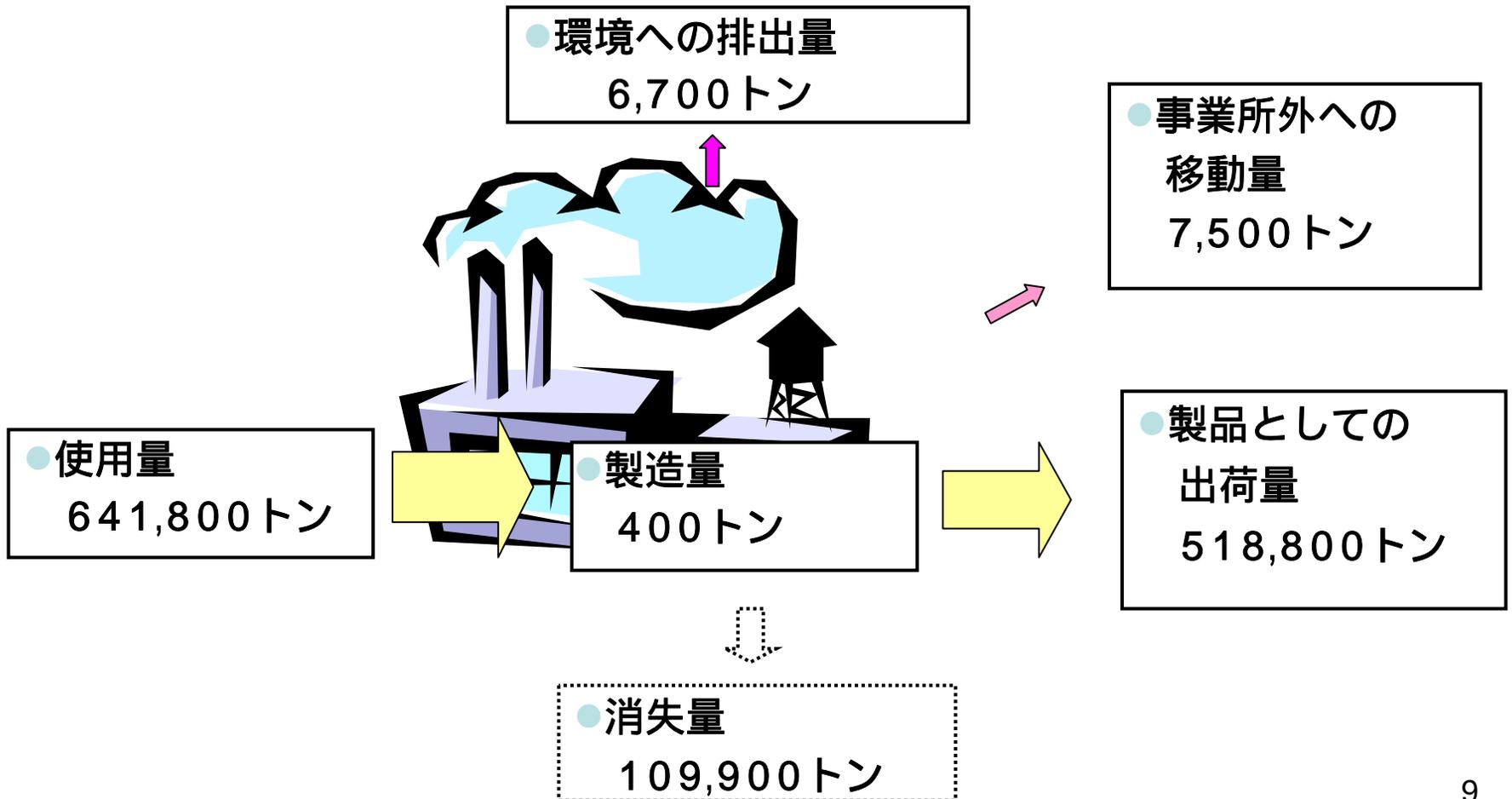
事業者は、化学物質が環境に及ぼす影響の軽減を図るため、次に掲げる取組について、**目標を設定し、実施するものとする。**

(ア)取扱工程の見直し等による化学物質の使用量等の削減

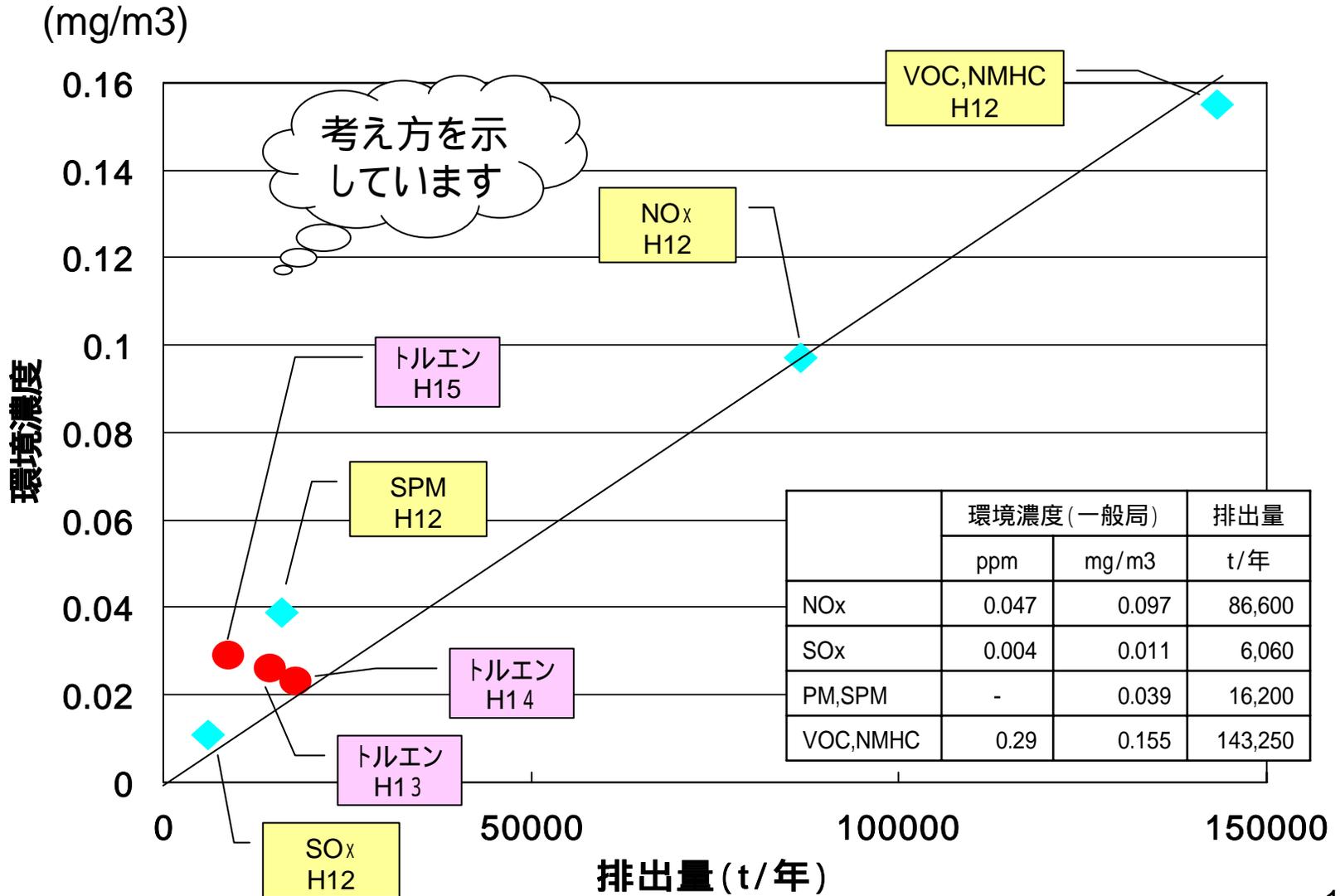
(イ)排出防止設備の改善等による排出量の削減

化学物質の挙動

(条例H16集計結果)



排出量推計値と環境濃度



まとめ

－化管法の見直しの方向－

- 対象物質の追加
 - － 代替物質にも有害性がある
 - － 目的に光化学対策を加える
- 排出量削減に結びつける仕組み
 - － 排出量データのHP公開
 - － 管理計画の提出義務
 - － リスコミの義務化
- 届出外排出量の推計精度の向上